

キラリ  
光るまち

①

# すぐそばにある宝

〜地元に愛される町おこし〜



秋田県横手市役所  
四代目やきそば担当

滝 麻里子



行列のできる  
横手やきそば屋

り組みを、行政側の視点で振り返ってみたいと思う。

## 『横手やきそば』の誕生

今でこそ変わった焼きそばとして全国的に知られている横手やきそばだが、そもそも『横手やきそば』という呼び名はごく最近まで存在せず、生粋の横手市民に

雪も降り始め、冬の気配も濃厚な横手市において、いまだ行列のできる店がある。それが、市内に約40店舗ある横手やきそばの店である。第4回『B-1グランプリ』で優勝した横手やきそばが、現在爆発的なブームとなっている事は、横手やきそば提供店舗のみならず、日々実感している事だろう。今回は、現在に至るまでの取

りとしては、それは今でも普通の『焼きそば』なのだ。そんな横手の

『焼きそば』が誕生したのは第二次世界大戦直後。市内でお好み焼き屋台を営んでいた男性と製麺業者により、横手やきそばは最大の特徴である、太く真つ直ぐな茹で麵(角麵)が生まれ、昭和28年頃、現在の横手やきそばの原型が誕生したのである。



横手やきそば

それから約半世紀。横手市は多くの市町村と同じく、地域おこしに力を注ぎ、核となる特産品を生み出そうと奔走していた。補助金等を活用し、既存商品のPRや新規特産品の開発を行ったが、大きな成果は得られていなかった。

そのような状況の中、平成10年頃、当時の商工観光課の職員が、横手市の焼きそばが特徴的だということ事に気付き、焼きそばで町おこし出来るのではないかと

動き始めた。当初は「焼きそばで町おこしなんて」と相手にされなかったが、担当職員の熱意により、平成12年から「横手やきそばプロジェクト推進本部」が市役所内に設立され、焼きそばによる町おこしがスタートした。その際、他地域との差別化を図るため「横手やきそば」という名称になったのである。

## 予算ゼロから、B-1の成功まで

プロジェクト推進本部はスタートしたが、当時の予算はゼロ。初代やきそば担当は、自らの財布を手に市内の焼きそば屋を食べ歩き、地道なデータ収集に努めた。そして、3ヶ月で市内の焼きそばを全て食べ尽くすと、インターネットからの情報発信を開始した。マスメディアで取り上げられる機会が増え、民間からもPRを行おうという動きが始まった。平成13年4月には市民団体「横手やきそば研究会」が、同年7月には横手やきそばの製麺業者と提供店舗からなる「横手やきそば暖

B1 当日の朝、  
一致団結！



「暖簾会」が発足。更には、全国のイベント出展に対応できるよう、横手市公認の「横手やきそば職人」を育成。これにより、市民と業者も加わった強力なPR、並びに観光客の受け入れ体制が整ったのである。

それから数年後、ご当地グルメによる町おこしが全国的に広まってきた頃、「B級ご当地グルメで町おこし団体連絡協議会」（通称「愛

Bリーグ」が発足した。そして、加盟団体並びにB級ご当地グルメが一堂に会すイベント「B-1グランプリ」が開催された。暖簾会は発足当初からの加盟団体であり、第1回大会からB-1に参加していたが、当時の担当職員は、その時すでに「B-1を横手で開催する」という強い思いを抱いていた。

そして、B-1の開催地として立候補、第4回大会の開催地として選ばれたが、横手は過去3回の開催地と比べて圧倒的に知名度が低い。交通の便が良いわけでもない。横手市での開催のため組織されたB-1事務局は、「横手に人を呼びたい、横手を知ってもらいたい、横手を好きになっ



横手やきそば美味しい！

そんな熱意に、たくさんの人が動いた。B-1の前に行われた決起集会では、行政と民間の心が一つになった。暖簾会は「来た方が何も食べられず帰る事がないよう、横手やきそばだけは絶対に切らさない」と、横手やきそば四天王など総勢20人を超える人海戦術を決行。研究会は出展ブースやステージで応援し、市職員からなる「横手やきそばバンド」もステージに立ち会場を盛り上げた。その結果として、B-1史上最高の来場者数26万7千人という大成功を収め、「ホスピタリティが良かった」という声をあちこちより頂けたのだと思う。

### 今後の課題、展望

現状一番の課題は、横手やきそばのブランド力の向上だと思っている。B-1グランプリでゴールドグランプリを取った事により、横手や

きそばの影響力は、こちらの想像を遥かに超えたものとなった。横手やきそばの名を利用する者も増えてきた。そういったものから本物を守り、逆にゆるぎのないものとするため、暖簾会は平成21年7月に『横手やきそば』について地域団体商標の出願を行った。これが正式に認可された後には、横手やきそばを守り、ブランド力を高めるための更なる働きかけが必要となる。

横手やきそばの名は全国区となった。しかし、これがゴールではない。むしろ、これからの取り組み次第で、横手やきそばの未来が決まると言っても過言ではないだろう。横手やきそばが全国で、何より、横手市民に愛され、横手市の宝となるようお願い、今一度気を引きしめる今日この頃である。



ゴールドグランプリ受賞！